

テーマ

ホースセラピーとはなんぞや『心身共に癒せる一日を』

目的

テーマにある地域資源を活かし、障がいのある方の個性に寄り添い楽しみながら自己能力を伸ばすことを目的とし現在、コロナ禍で心身ともにストレスを抱える方が増えていることを鑑み、豊かな自然の中で本格的な「ホースセラピー」を行いました。

<活動報告>

1, ホースセラピー講習・地元説明会

活動日 :2月5日

対象者 :放課後等デイサービス管理者、ホースセラピーに興味のある方
看護師、医師

参加人数:28名

講義『ホースセラピーとはなんぞや』

講師 :児童精神科医 井上悠里氏

馬との触れ合いによる心身への効用についてなど講義して頂きました。



<参加者の感想>

※この今治市菊間町で、お供馬の伝統を守り抜いている方々と一緒に講義を受けさせていただいたことに、たいへん大きな意義を感じました。というのも、最初に井上先生はこの伝統行事の素晴らしさを伝えながら(最大限に尊重しながら)、「お供馬」と「ホースセラピー」の第一義(もっとも大切にしている根本的な意義)を対比して、ホースセラピーとはなんぞやということを教えてくださいました。

2, ホースセラピー体験会

気分転換となるような、地域の様々な対象者向けの体験会を行いました。

活動日:2月5日

対象者:馬好きの方、馬に興味がある方など

参加人数:20名

講師:福山ホースクラブ・放課後等デイサービスまきば代表 高橋のり子氏

<ふれあい>

馬とのふれあいの仕方、馬とのあいさつの仕方、注意点など説明の後、一人ひとりふれあいを楽しみました。



乗馬をする前に馬の訓致中(昇降台に慣れさせる)



<引き馬乗馬体験>

参加者:8名(小中学生)

サイドウォーカー:4名(大学生)



(参加者の感想)

※子供たちは、すぐそばで馬と過ごすことができたり、乗馬できたことがとてもうれしかったようです。またこのような機会があれば、友達も誘ってぜひ参加させていただきたいなと思っています。ただ、「もっと多くの人に宣伝して楽しんでもらえるようにしたらよいのにな」と思う反面、「少人数の穏やかな感じがとてもよかったので、大規模イベントにすると失われる良さもありそうだな」と思ったりもします。

3, 知識獲得のための勉強会による人材育成

馬の取り扱い方法等についての知識を獲得するための勉強会を行い、馬に関わる人の多様な人材を育成することで、馬の活用方法を幅広く行うことができる。

7月30日 サイドウォーカーの講習中



8月11日 馬の訓致中 馬主他関係者11名が参加

10月1日 お供馬の乗り子(小中学生・10名参加)が引き馬に挑戦中
ふれあい・引き馬乗馬体験 47名参加



<今後の課題>

菊間町の豊かな自然の中で、お供馬とのかかわり方の幅を広げ、地域に対する理解を深め観光・交流視点でのプログラム創出を目指していく為の人材と馬の取り扱いのスキルアップをするために人材育成を行い、600年続く伝統文化「お供馬の走り込み行事」を継承して参ります。

